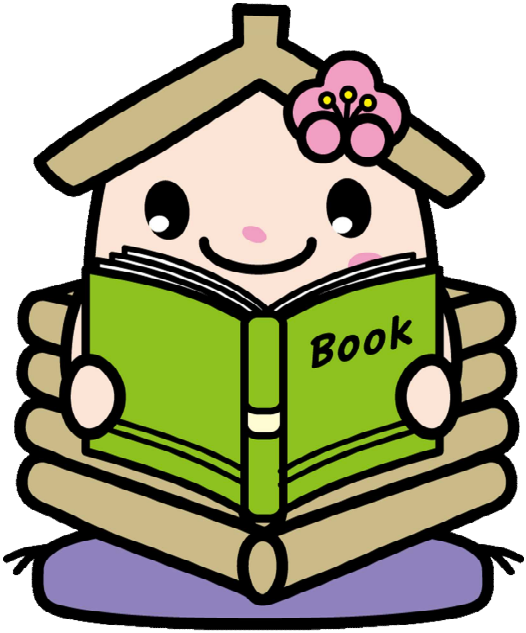
中学生におすすめの本

2022

ブック セレクション



酒々井町立図書館

『14 歳の教室 どう読みどう生きるか』　ティ 104 ワ

若松英輔／著　NHK 出版

先が見えずに苦しいとき、言葉が君を支えてくれる。「おもう」「考える」など素朴な動詞の意味を問いながら、大切な言葉と出会う７つの授業。筑波大学附属中学校での講義をもとに書籍化。

『自分の強みの見つけかた』　159.7 カ

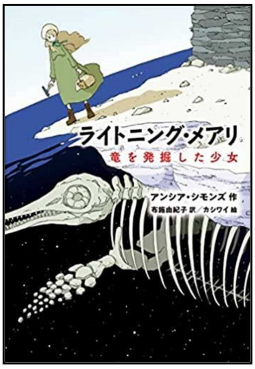
垣内俊哉／著　KADOKAWA

病気のため幼い頃から車いすに乗って過ごしてきた、株式会社ミライロの設立者・垣内俊哉が、これまでを振り返りつつ、弱みを強みに変えるあたらしい時代の生き方・働き方を、マンガとともに伝える。

『ライトニング・メアリ 竜を発掘した少女』　ティ 289.3 シ

アンシア・シモンズ／作　岩波書店

赤ん坊のころ落雷に直撃され、父から「稲妻(ライトニング)メアリ」と呼ばれた少女メアリ。父を手伝い、海岸で化石を発掘するメアリは地質学に目覚め…。12 歳で世界初の魚竜イクチオサウルスの化石を発見したメアリの物語。



『SDGs 入門 未来を変えるみんなのために』　ティ 333.8 カ

蟹江憲史／著　岩波書店

環境、エネルギー、貧困、格差…。様々な課題と向き合い、「だれ一人取り残されない」未来を、どのように作っていけばよいのでしょうか。SDGsの理念や生い立ち、互いに関連する 17 の目標についてわかりやすく解説します。

『支える、支えられる、支え合う』　ティ 369.4 ロ

サヘル・ローズ／編著　岩波書店

学校でいじめを受けた経験を持ち、現在は難民キャンプの子どもたちへの支援を行っているサヘル・ローズが自らの体験をたどりながら、他者を思いやり、寄り添うことの大切さを伝える。子どもの支援に携わる人々の活動も紹介。

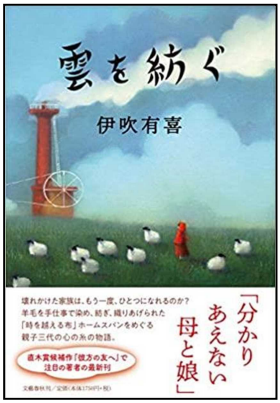
『あしたの幸福』　ティ 913.6 イ

いとうみく／著　理論社

中学生の雨音の父が事故で死んだ。父と２人暮らしだった雨音は、親戚の世話になりたくなくて、赤ん坊の頃に家を出た産みの母と一緒に暮らすことを選んだ。どんな名もつかない間柄がつむぐ糸の行方は…。

『雲を紡ぐ』　一般９１３.６イ

伊吹有喜／著　文藝春秋



壊れかけた家族は、もう一度、ひとつになれるのか？ 羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布」ホームスパンをめぐる、親子三代の心の糸の物語。

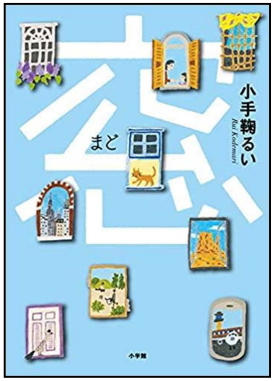
『かはたれ 散在ガ池の河童猫』

朽木祥／作　福音館書店　児９１３.６ク

河童のこどもがやってきた。小さな猫に姿を変えて…。かはたれ、それは魔法の解ける時間。今まで見えなかったものが見えてくる。心の問題を抱える少女・麻と、河童のこども・八寸との、ユーモアと感動に満ちたファンタジー。

『窓』　ティ９１３.コ

小手鞠るい／作　小学館



父と離婚し、幼い頃から離れて暮らしていた窓香の母のノートが、窓香の元に届いた。ノートには、母がどのように生きていたのかがつづられていて…。ひとりの女性である母の生き方を知ることで、大きく成長する少女を描く。

『本を守ろうとする猫の話』　ティ９１３ナ

夏川草介／著　小学館

高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れ…。

『水を縫う』　ティ９１３テ

寺地はるな／著　集英社

男なのに刺?が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、６人の家族の物語。

『図書室のはこぶね』　一般９１３.６ナ

名取佐和子／著　実業之日本社

10 年前に貸し出されたままだったケストナーの「飛ぶ教室」が、野亜高図書室に戻ってきた。体育祭を控え校内が沸き立つなか、1 冊の本に秘められたドラマが動き出す。この世界が愛おしくなる瑞々しい青春小説。

『ドーナツの歩道橋』　ティ 913.6 マ

升井純子／著　ポプラ社

家族のこと、好き? それともきらい? 思いは毎日くるくるまわる。好きときらいは、とっても近いところにあるんだね-。新しい学校と友だち、介護が必要な家族のこと。高校 1 年生の麦菜の心ゆれる毎日をみずみずしく描く。

『タブレット・チルドレン』 ティ 913.6 ム

村上しいこ／作　さ・え・ら書房

1 人 1 台タブレットの時代。あたえられた課題はなんと子育て!? 生徒 2 人がペアになり、タブレットの中で人工知能の子どもを育てるという。心夏と温斗のペアがさずかったのは、超毒舌小学生マミだった…。

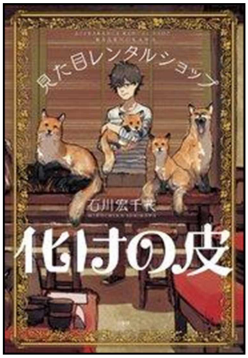
『カモメに飛ぶことを教えた猫』

ルイス・セプルベダ／著　白水社　ティ 963 セ

黒猫のゾルバが、ひん死のカモメに誓った 3 つの約束。その約束を守るには、大いなる知恵と、なかまたちの協力が必要だった…。愛と勇気と感動の物語。

『見た目レンタルショップ 化けの皮』 ティ 913.6イ

石川宏千花／著　小学館



見た目を変えたい。その願い、狐たちが叶えてくれます-。狐を使役する一族の末裔である主人公と狐たちが営むレンタルショップを舞台にした、〈見た目〉をめぐる物語。『読売中高生新聞』連載を加筆・修正し単行本化。

『オイモはときどきいなくなる』 児 913.6タ

田中哲弥／著　福音館書店

モモヨは小学３年生。帰ってこない犬のオイモを探しに出かけると…。そこにいること、もうそこにはいないこと、ほんとうのこと、ゆめのこと。すべての境目が浮かんでは消えながら紡がれる、ときどきとえいえんの物語。

『きみにしか聞こえない Calling you』 ティ B913 オ

乙一／著　角川書店

携帯電話をもっていない孤独な女子高生リョウ。ある日、自分だけの携帯電話を想像していると、空想のはずの頭の中の電話が着信音を鳴らし始めて…。さみしい気持ちが生んだ小さな奇蹟を描く。

児…児童コーナー　ティ…ティーンズコーナー
般…一般コーナー

利　用　案　内

初めて本を借りる時

「貸出カード」を作りましょう。住所の確認できるもの（名札・はがきなど）を持ってカウンターで申し込んでください。

本を借りる時

「貸出カード」と一緒に借りたい本をカウンターに出してください。
一人 10 冊まで、２週間借りられます。CD・DVD は２点までです。

本を返す時

借りた本をカウンターに出してください。（貸出カードは必要ありません）
図書館が閉まっている時はブックポストに返すこともできます。

本が見つからない時

貸出中の場合は予約することができます。また、図書館に所蔵がなくても、取り寄せできる場合があります。「リクエストカード」に書いてカウンターに出してください。

「読書通帳」に記録しよう

借りた本のタイトル・著者名・分類を読書通帳に記録することができます。
読書通帳をまだ持っていない方は、職員に教えてください。

編集・発行：酒々井町立図書館　　2022 年７月